



YUKIUSAGI

ゆきうさぎ

岩谷医院会報
第31号
〔開院記念号〕

平成24年5月14日発行

岩谷医院

院長 岩谷 文夫 (循環器専門医、心臓血管外科名誉専門医、健康スポーツ医)

副院長 岩谷 恭子 (循環器専門医、内科認定医、産業医)

ホームページアドレス <http://iwaya-clinic.com>

岩谷医院開院十一年を迎えて

昨年は開院十年目の節目の年でしたが、福島は東日本大震災とそれに続いた東京電力福島第一原子力発電所事故による放射能汚染という未曾有の災害にみまわれ大変な一年でした。震災からの復興は徐々に進んでいます。放射能汚染地区の現状はほとんど進展は見られず避難されている方々はいまだ先の見えない不自由な生活を強いられています。個人の力ではどうしようもない現状に対して今こそ地方のそして国の指導力が問われています。将来を見据え、大きな視野に立つた方向性を出してもらいたいものです。岩谷医院の方向性は一年目も十一年目も変わることはありません。ヒヤシンス医療、ヒラかれた、やさしく、シンセツで、すぐれた医療をめざし、来院される患者さん一人一人が納得される医療を、スタッフ一同これからも続けてゆきたく思っております。



院長より一言

ジェネリック医薬品

ジェネリック医薬品については平成15年1月発行の「ゆきうさぎ3号」のこのコーナーでその概要について説明いたしました(岩谷医院のホームページで見ることが出来ます)が、厚労省は今年4月の診療報酬改定で処方箋記載の個々の医薬品すべてについてジェネリックへの変更可否のチェックをするよう医師に義務づけました。処方箋を見て気付かれた方もいらっしゃると思います。一般名で記載してどのジェネリックにするかは薬局にゆだねる方法も今回から施行されています。ジェネリック医薬品にも飲みやすさなどを考え剤形などが工夫された製品もあり当院でも使用していますが、現在のところは、私も副院長も、ジェネリック医薬品に関しても、どの製品にするかは今までの実績などをふまえ、医師が判断し患者さんに説明するようにしています。先発品と成分が同じということだけで、何を使っても良いとは考えていません。

ウワバミのイビキ

福島市 亀谷 正さん

三十年近く前になるが心臓を患い緊急入院したときのことだ。かなり重篤で移動は車椅子かストレッチャーで看護師さんのお世話になっていた。病室は大部屋で四、五人患者はいたと思う。ベッドは廊下側で話し声はよく聞こえる。廊下は公共施設と言うか公衆浴場みたいなもので耳を傾けていると実に面白い。

こういう時は新聞ラジオ無しでも退屈しない。

聞くところによると退屈しだすと退院間近かという。体を動かさぬ所為か病気のせい精神的なものか眠れぬ。

夜九時になるとあちこちで電灯を消す音がする。日中のざわめきが消え、話し声も絶え静かな病棟に変わる。あちこちから寢息が聞こえる。たまに看護師さんの通る足音がする。これからの長い。ひたすら夜明けを願い暗闇と睨めつこする。

突然「ガガガガーツ」「ギギギギーツ」「ギリギリギリツ」「ゴゴゴゴーツ」「ウオーンウオーン」と物凄い音がしだした。

賑やかこの上ない。よく皆平気で寝ているものだ。やがて夜が白々と明けてくる。

「あんだ、よーぐ寝てだない」「寝つきが悪いーから朝方寝んだない」

「それにしてもよ、ゆんべのイビキは凄かったない」「んだんだ」

「俺なんかよゴーツでガバツと跳ね起きだ」「あつちでゴーツこつちでギーツだべ」

「たまんねーな」「俺もあれから全然寝らんねーわ」

「掛け合いだな」「鼻破けねーか、歯折れねーが心配してんだ」

「朝飯食つて、口開げで寝てる奴は被害者だべ」「はっはっはっ」

「しかしあれだけのイビキは人間でねーな」「ありやウワバミだべ」

「俺もそう思う、ウワバミだな」「しかしだ、考えてみるとウワバミは蛇の親玉だべ、蛇はイビキかくか?」

「おら、聞いたことねーな」「ウワバミだべ?ウワバミだつたらかくな」

「昔からウワバミは大酒飲んで大イビキかくと言われてっぺした」「ほれ、古事記にだつて八岐大蛇(やまたのおろち)が大酒飲んでイビキかいでつと、素戔鳴尊(すさのおのみこと)が退治したつう話あつぺした」

「あんだ、随分古い話知つてんだない」「人間

川柳箱より(短歌 俳句 川柳 詩)

蒲倉琴子さん(福島市松川町)

俳句

開院十周年おめでとうございます

吾妻嶺の雪形うさぎ旭に飛びぬ

川柳

神酒抱きて笑顔はなやぐ御輿待つ男孫のAKBの真似に初笑い

川柳

翔屑(しょうせつ)さん(福島市天神町)

茶を飲んで今の幸せ噛みしめる
高齢者自転車凶器怪我のもと
念入りにおめかし親の入学式

川柳

荒井智雄さん(福島市八木田)

飛角抜き王様取ったと孫笑顔
爺ちゃんに将棋勝ったと笑う孫
孫の手をこれ何の手と孫笑い
肩車孫の重さに苦笑い

川柳

伊藤ミツイさん(福島市太田町)

行つて来ます笑顔うかべて孫登校
春が来た球児の笑顔輝けり
泣き笑い夢の如しの八十年
八十路坂笑顔そろえてクラス会
探し物目の前にあり苦笑い
娘の自慢ほっこり笑顔で聴いている

長げーごことやつてかんない、昔学校で習ったがんない」

「そうゆう学校はいいもんだない、楽しいない」「俺開けた事ねーげんちよ、歴史の教科書は直ぐ分かったな、神武天皇が杖持って杖の上には三足のヤタガラスが止まつてる表紙だったかな」

「そういえば、俺も紙芝居で見たような気がするな」「うんうん、天の岩戸の話とか岩見重太郎の豪傑物語とか牛若丸の八艘飛びとか鐘太鼓でドンチャンドンチャンやつて興奮したな」

「俺なんか、啜えてた水飴の割り箸噛み切ったもんな」「学校で習うより紙芝居で覚えたんじゃねーがい」

「そうとも言えるな」「そのころは大人だつて講談とか浪花節とかで歴史を覚え、落語で寝る舞いを覚えたな」

「つまり日本人の心を習ったつうーごどだ」「イビキも凄かったが、唸りも酷かったない」「虎だがりオンだが、猛獣の声だな」「昼は病院夜は動物園つうーごどがい」「はっはっはっ」「へっへっへっ」

たわいもない話を聞いていると、ついウトウトしてくる。検温ですと看護師さんがくる。朝から寝ないでください、日中寝るから夜

眠れないんですよ、日中は我慢して起きててくださいな」「睡眠薬がいま効いてきたんだよ」「そんなことないです、今日二日頑張つて起きてくださいよ」
あーまた検査検査、点滴注射の一日が始まるな。

*病室では患者さん同士がいろいろな話をされているのでね。それも福島弁まるだしで(院長)

患者さんからの寄稿

ふくしまに本当の空を

福島市 野うさぎとぺん草さん

平成二十四年、新しい年が明けました。穏やかな年であれと祈り、手を合わせただばかりの午後に、太平洋に浮かぶ鳥島を震源とする地震が起きました。静かで長く広い地域に及ぶ不気味な揺れでした。震災からまもなく一年、あの日の恐怖を忘れることはできない。わたしたち夫婦の居た場所(仙台港近く)から少しでも逃げるのが遅かったら、確実に津波に遭遇したと思っています。

後日、夫から、その近くのビルの人たち全員が死亡したと聞かされたとき、背筋が凍る思いと恐怖と悲しみでいっぱい

佐藤晴一さん(福島市小倉寺)

川柳

聴診器見る度いつか笑顔出る
先生の笑顔なつかし入院中
先生の笑顔に似てきた十年目

栗原良樹さん(福島市笹谷)

川柳

いつ戻る浜の子どもの笑い声

ケータイで笑顔忘れた現代子

勝ち抜いて見せた笑顔のさわやかさ

長寿国百歳笑顔美しい

百歳の笑顔の奥に歴史あり

何もない元氣と笑顔それ財産

船酔いの友を笑つて吾も酔い

近頃は笑顔が消えて皺が増え

金メダル最高だよなあ笑顔

浜っ子の笑顔消した放射能

なごやかな笑顔に財布騙される

見えないぞ笑顔の裏の別の顔

吾が妻の笑顔にまんまと騙される

疲れても笑顔で帰る遊びあと

妻笑顔夕餉の酒は味も良し

新相馬ぶしも遠くに追いやられ

笑い消し青空汚す放射能

いつになる笑う門には福来たる

へそくった金が見つかり苦笑い

笑えない総理の寿命短かくて

山田繁子さん(福島市須川町)

川柳

被災地に笑顔戻せと国挙げて

笑顔とはつづれた顔も立て直す

ひたすらに頭かすめる五七五

になり、涙が止まりませんでした。

福島県は、いまだに原発の影響で復興が思うように進まず先も見えません。古里に帰りたいという気持ちは誰しも同じだと思います。

汚染されたがれきの仮置き場として三十年、本場でしようか。最終処分場となるのではないでしようか。冷温停止、廃炉にして更地にするのに四十年、本場でしようか。百年以上かかるのではないでしようか。本場のことが知りたいです。説明をしてほしいです。

県民が行政に何を求め要望しているのか。国、県、市、東京電力に考えてもらいたいです。現実を見つめ県民との温度差がないようにお願いしたいです。

具体的な復興計画が示されないうちに、避難区域の解除などといわれても誰も納得しませんし、出来ないと思います。

県民に対する賠償金にも疑問を感じます。浜中会津と地方で区切り、福島を二分するような出し方では納得いきません。線量の高さや、一般、子供、妊婦と、明確な基準を設けて配分してほしいと思います。

命の線引きなど出来るのでしょうか。国を背負ってきた大人たち、これから国

を背負う子供たち、どちらも命の重さは同じです。

すべての課題が何も解決しないまま忘れ去られることがないように、今こそ首長の力量が問われるときだと思えます。福島県は福島県らしく、復興への道を切り開いてくださいと願うだけです。

平成二十三年を象徴する漢字が「絆」に決まりました。いろいろな文字の中から重みのある一文字だと思います。

「絆」を私なりに考えてみました。友人、知人の消息がわかり、ほっとしたところ。浜の友は、賀状で無事を知らせてくれた。気仙沼の知人は、人から人へ見知らぬ人たちの手から手へで「輪」を作り、答えが返ってきました。とてもうれしかったです。これが「絆」ということなのでしょう。助かった人々には、これからも命を大切に生きてくださいと願うだけです。

わたしには命を支えていただいている、ひとりの女医さんがおられます。十七年前大原病院で「先生、この薬何錠飲んで胸の痛みが取れない。」と、他の病院で処方された薬を持って、先生のもとを訪ねました。その薬は、一日一錠しか飲んで

山田繁子さん(福島市須川町)

川柳

折り紙のコマが回れば皆笑う
被災者に一役買った笑いゴマ
八十路坂あちこちに椅子あればいい
くるくると雀の如く枯葉舞い
はなみずき桜追いかけて固つばみ
ベビーカー乗っていたのは犬二匹
生きのびて窓に手をする蠅一匹

短歌

米寿までめざしてみてと言ひし娘は

孫の成長つぶさに聞かせ

俳句

鉢の下カエルひそんで春遠し

*開院十周年記念川柳大会への応募は四月末日で締切いたしました。
たくさん作品のご応募を有難うございました。課題十六句、自由題四十三句、計百九句でした。優秀作品は、課題「笑顔、笑い」、自由題ともに皆さんに選んでいただきます。これはいいと思った作品をそれぞれ十句づつ選んでください。応募作品と投票用紙を事務受付カウンターに用意いたしました。一人各一枚に記入し川柳箱に入れてください。その中から最優秀作品を決めたいと思います(院長)



ではいけない葉だということを、わたしによくわかるように説明してくださり、暖かい手で診察していただきました。帰りに「お大事に」と笑顔で送っていただいたことが、昨日のことのようによく覚えていきます。長く診ていただいている患者のひとりとして、先生には大変お世話になっております。

思い起こすと、こんなこともありました。

夜中に二、三度急患として病院に行つたことがあります。そのときの当直の医師が先生のご自宅に電話をかけ指示を仰いだとき、先生は症状が落ち着くまで指示を出し続けてくれました。

精神的に落ち込んだときも「何か悩んでる？」と声をかけて下さったのも先生でした。診察終了後、大切な時間をわたしのために使っていただき、心静かに自宅に戻ることが出来ました。

毎日、大勢の患者が先生を頼って通院しています。

ときには病棟から呼ばれ、ときには患者に罵声を浴びせられ、診察を一時中断するということもありません。それでも「お待たせしました」と何事も無かったかのように、暖かい笑顔で凛とし

た姿で再開されました。すごい女医さんだと心を打たれました。

また、先生は雑談にも応じてくださいます。庭の花、樹、ねこの話、時勢のはなし、お忙しいのに恐縮しながら診ていただいています。

医師として、女性として、主婦として尊敬とあこがれのお方です。恭子先生ほんとうにありがとうございます。

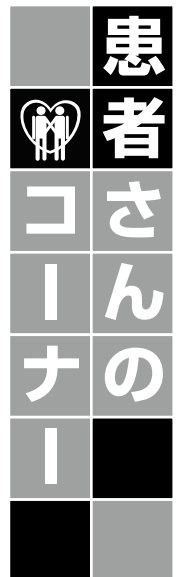
わたしは今も「ふるさと」の歌を歌ったり聞くことが出来ません。いまの自分には、あまりにも悲しくせつない歌だからです。坂本九が「見上げてごらん夜の星を」と、S M A Pが「夜空のムコウには」と歌っています。高村智恵子が「本当の空がある」と言っています。

福島県に一日も早く穏やかな空が、本当の空が、戻ることを願ひ祈っています。

*「ゆきうさぎ二十八号」（岩谷医院のホームページに掲載）での貴重な体験（題名…三・一―その時―に続いて、今の福島県民の気持ちを、思いを、そして願いを書いていただきました。ありがとうございます。でも副院長はとても恥ずかしがってました（院長）



*絵画に釣りに太極拳にと大忙しの土屋さん。絵画はいくつか「ゆきうさぎ」でご紹介いたしましたが、太極拳も半端じゃないです。今年3月日本武術太極拳連盟から2段の認定をうけました。おめでとうございます。この円熟の雄姿をご覧ください。太極拳阿吽の呼吸で医者いらず（院長）



医院からのお知らせ



【市民検診および特定健診について】

昨年同様、6月より各種がん検診とメタボリック症候群に的を絞った特定健診（特定健診は一部4月より）が行われます。

【平成24年6月1日（金）～10月31日（水）】

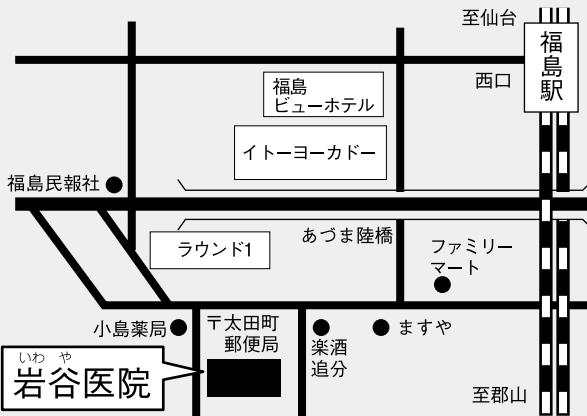
詳細な説明会はこれから行われるのですが、特定健診・後期高齢者健診内容については前年度とほぼ変わらないということで、定期的に当院に通院し、薬を服用されている患者さんに対しては、少なくとも6ヶ月に1回は一通りの血液検査を行い検査結果を説明し、指導を行っておりますので、特定健診用の血液検査は必要ないと考えております。

各種がん検診については、当院では大腸がん・肺がん・前立腺がん・肝炎ウイルス検診について検診可能です。こちらはぜひ受けていただきたいので、該当の方は受診券がご自宅へ届き次第、診察医師または受付にお申し出下さい。

なお、検診については完全予約となっております。受診券・保険証の確認と前もって問診票の記入が必要となりますので、お早めに診察医師または受付にお申し出下さい。

なにかご不明な点がありましたら、お気軽に受付に御相談下さい。

【※10月の検診末日になると、検診受付が出来ない場合もありますので、お早めに受付に相談、予約をお取りいただくようお願い致します。】



ラ・シェール追分1F

【福島駅西口より 徒歩7分】

〒960-8068 福島市太田町17-27ラ・シェール追分1F
でんわ 024-528-7770 / FAX 024-528-7780

★診療時間

平日（木曜日を除く）は 午前9時～12時 午後2時～5時30分
土曜日は 午前9時～午後2時（昼休みなしで診療いたします）
休診日は 日曜日・祝祭日・木曜日

★診療項目

内科疾患・循環器疾患・動脈疾患・先天性心疾患・人工弁管理・ペースメーカー管理・人工血管管理・基本検診・健康スポーツメディカルチェック など

看護師ま・ゆ・この



ワンポイント アドバイス⑨

体調管理について

近頃、急に暑くなったり、寒くなったりと、気候変動が激しく、一日の気温差や前日との温度差が大きいことが多く、体調が崩れやすくなっています。

できれば、早寝早起きをし、睡眠は8時間を目指し、食事は三食腹八分とし、なるべく規則正しい生活を心がけましょう。

また、ストレスをためず、笑顔で過ごし、少しでも体を動かすことも体調を整えることにつながりますので、ご自分に合った方法で、体調が整うよう努めましょう。

小島薬局だより

お薬手帳を有効に活用していますか？

お薬手帳は、患者さんが「今、どんな薬を服用しているか」又は、「以前、どんな薬を服用していたか」など、医師・薬剤師が知る事のできる大切な情報源の一つです。

急病などで緊急に病院にかかった時や地震など天災の時や旅行先、外出先で他の病院にかかった時など非常に役に立ちます。

お薬手帳は、無料で配布していますので、ぜひご利用ください。

福島市太田町19番1号

有限会社小島薬局

取締役 小島衛輔

TEL.024(535)1731



あ と が き

開院11年目に入り、「ゆきうさぎ」も31号になりました。継続は力なりで開院以来続けて来てよかったと思っています。これも投稿していただいている皆様のおかげです。これからも無理なく続けて行くつもりです。今回もご投稿の亀谷さん、野うさぎとぺんぺん草さん、有難うございます。開院10周年記念の川柳大会は応募を締め切りました。これから2～3か月をかけて選考に入ります。来院の皆さまにもご協力をお願いいたしますのでよろしくお願ひいたします。